

## 自動車・同部品・タイヤ

### 1. 評価対象企業（20 社）

トヨタ紡織、横浜ゴム、TOYO TIRE（新規）、ブリヂストン、住友ゴム工業、豊田自動織機、デンソー、日産自動車、いすゞ自動車、トヨタ自動車、日野自動車、三菱自動車工業、アイシン（注）、マツダ、本田技研工業、スズキ、SUBARU、ヤマハ発動機、小糸製作所、豊田合成

（証券コード協議会銘柄コード順）

（注）アイシン精機が商号を変更した（2021 年 4 月）。

### 2. 評価方法

#### （1） 評価基準の構成および配点

| 評価分野                            | 下記本文中の略称       | 評価項目(注)数 | 配点  |
|---------------------------------|----------------|----------|-----|
| ①経営陣の IR 姿勢、IR 部門の機能、IR の基本スタンス | 経営陣の IR 姿勢等    | 3        | 30  |
| ②説明会、インタビュー、説明資料等における開示         | 説明会等           | 2        | 20  |
| ③フェア・ディスクロージャー                  | フェア・ディスクロージャー  | 1        | 10  |
| ④コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示         | コーポレート・ガバナンス関連 | 2        | 20  |
| ⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示             | 自主的情報開示        | 2        | 20  |
| 計                               |                | 10       | 100 |

（注）具体的な評価項目の内容および配点は後掲。

#### （2） 評価実施アナリストは 31 名（所属先 23 社）である。（氏名等は後掲）

### 3. 評価結果

#### （1） 総括（「ディスクロージャー評価比較総括表」は後掲）

- ① 本年度は、評価分野全般において、項目の整理・統合等を大幅に行い、評価を実施した。このため、昨年度と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は 65.0 点（昨年度 68.3 点）、総合評価点の標準偏差は 5.0 点（昨年度 7.0 点）であった。
- ② 業態別の総合評価平均点を比較すると、高得点順に、自動車部品メーカー（6 社：トヨタ紡織、豊田自動織機、デンソー、アイシン、小糸製作所、豊田合成）66.1 点（昨年度 67.0 点）、自動車メーカー（10 社：日産自動車、いすゞ自動車、トヨタ自動車、日野自動車、三菱自動車工業、マツダ、本田技研工業、スズキ、SUBARU、ヤマハ発動機）64.5 点（昨年度 70.3 点）、タイヤメーカー（4 社：横浜ゴム、TOYO TIRE、ブリヂストン、住友ゴム工業）64.2 点（昨年度 64.0 点）となった。タイヤメーカーを除く 2 業態が、昨年度を下回ったが、特に、自動車メーカーの下げ幅が大きかった。
- ③ 5 つの評価分野毎に平均得点率（評価対象企業の平均点／配点（以下省略））を見ると、経営陣の IR 姿勢等が 66%（昨年度 71%）、説明会等が 66%（昨年度 72%）、フェア・ディスクロージャーが 67%（昨年度 85%）、コーポレート・ガバナンス関連が 65%（昨年度 61%）、自主的情報開示が 62%（昨年度 63%）となった。昨年度に比べ、コーポレート・ガバナンス関連を除く 4 分野が下がったが、特に、フェア・ディスクロージャーが大きく低下した。

- ④ 評価項目について見ると、70%以上の項目はなく、次の50%台の1項目（自主的情報開示の中の1項目）を除き、全て60%台であった（昨年度は、全18項目中13項目が70%以上）。

・「工場見学、事業部説明会、技術説明会等を実施し、かつその内容は充実していますか」（平均得点率57%（昨年度54%））（得点率（評価点／配点〈以下省略〉）：40%台8社・50%台3社・60%台6社・70%台3社）

- ⑤ 非財務情報関連の次の項目（自主的情報開示の中の1項目）は、昨年度に比べ低下した。

・「非財務情報（統合報告書、ファクトブック、ESG情報等）の開示に積極的に取り組んでいますか」（平均得点率67%（昨年度71%））（得点率：50%台1社・60%台14社・70%台5社）

## (2) 上位3企業の評価概要

### 第1位 デンソー（ディスクロージャー優良企業〔初受賞〕、総合評価点73.5点〔昨年度比－3.1点〕、昨年度第3位）

- ① 同社は、説明会等（得点率〈以下省略〉75%）、自主的情報開示（75%）が第1位、経営陣のIR姿勢等（74%）、コーポレート・ガバナンス関連（70%）が第3位、フェア・ディスクロージャーが第4位（73%）となった。
- ② 経営陣のIR姿勢等においては、「経営トップが企業価値向上の手段としてのESGの重要性を認識し、その取組み内容を投資家に的確に伝えていること」が第2位となった。「経営トップが企業価値向上への意識を高め、投資家にとって有意義なメッセージを発信していること。また、投資家の期待や懸念を理解し、それに伝えていること」も第3位となった。これらに関連して、経営陣のメッセージがわかりやすいこと、ESG重視を中期戦略の重要項目として説明していることを評価する声が寄せられた。また、ダイアログデーを通じての情報発信を評価する声もあった。なお、経営トップとの対話の機会を増やしてほしいとの声があった。「IR部門の機能」は、同得点第8位にとどまった。
- ③ 説明会等においては、「説明会における会社側の説明（質疑応答も含む）が十分であること」が第1位となり、「企業分析に必要かつ十分な情報が得られること」も同得点第1位となった。これらの結果、この分野において第1位となった。これらに関連して、質疑応答での対応を評価する声が寄せられた。
- ④ フェア・ディスクロージャー（1項目）の、「経営陣およびIR部門が、投資家にとって重要と判断される事項についての開示（メディア対応も含む）に際し、遅滞なく十分に、かつ公平に行っていること。また、ウェブサイトを利用して説明会等の内容（質疑応答を含む）を日英両言語でタイムリーに提供していること」は、第4位となった。これに関連して、説明会の質疑応答の内容を日英両言語で開示していること、スクリプト付の決算説明資料が迅速に開示されることを評価する声が寄せられた。
- ⑤ コーポレート・ガバナンス関連においては、「中期経営計画や長期ビジョンを公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が、十分に説明されていること。また、資本政策、株主還元策等が十分に説明されていること」が同得点第2位となった。これに関連して、中期ビジョンのアップデート（ダイアログデー）を評価する声があった。なお、「コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢を十分に説明していること」については、平均得点率と同程度にとどまった。
- ⑥ 自主的情報開示においては、「非財務情報（統合報告書、ファクトブック、ESG情報等）の開示に積極的に取り組んでいること」が同得点第1位となった。また、「工場見学、事業部説明会、技術説明会等を実施し、かつその内容が充実していること」も第3位となった。これらの結果、この分野において第1位となった。内容が充実していたものとして、ダイアログデーの開催を挙げる声が多かった。

これら同社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、同社を本年度の当業種における優良企業として選定した。

### 第2位 豊田合成（総合評価点73.3点〔昨年度比－5.8点〕、昨年度第1位）

- ① 同社は、経営陣のIR姿勢等が第1位（79%）、フェア・ディスクロージャーが第2位（75%）、自主的情報開示が第3位（73%）、説明会等が第4位（71%）、コーポレート・ガバナンス関連が第5位（68%）となった。

- ② **経営陣の IR 姿勢等**においては、「経営トップが企業価値向上の手段としての ESG の重要性を認識し、その取り組み内容を投資家に的確に伝えていること」が最も高い評価となり、「経営トップが企業価値向上への意識を高め、投資家にとって有意義なメッセージを発信していること。また、投資家の期待や懸念を理解し、それに応えていること」も評価された。これらに関連して、決算説明会、スモールミーティングなどの機会を通じた積極的な情報発信や、ESG 説明会の内容を評価する声が寄せられた。また、「IR 部門の機能」も第 2 位となった。これらの結果、この分野において第 1 位となった。
- ③ **説明会等**においては、「企業分析に必要かつ十分な情報が得られること」が第 3 位となり、得点率は第 1 位と僅差であった。「説明会における会社側の説明（質疑応答も含む）が十分であること」は同得点第 4 位となった。なお、地域別増減要因分析や各種前提を開示しており有益との声があった。
- ④ **フェア・ディスクロージャー（1 項目）**の、「経営陣および IR 部門が、投資家にとって重要と判断される事項についての開示（メディア対応も含む）に際し、遅滞なく十分に、かつ公平に行っていること。また、ウェブサイトを利用して説明会等の内容（質疑応答を含む）を日英両言語でタイムリーに提供していること」は、第 2 位となり、得点率は第 1 位と僅差であった。なお、スモールミーティングの内容を開示していること、質疑応答の内容が迅速に開示されることを評価する声があった。
- ⑤ **コーポレート・ガバナンス関連**においては、「コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢を十分に説明していること」が同得点第 4 位となり、「中期経営計画や長期ビジョンを公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が、十分に説明されていること。また、資本政策、株主還元策等が十分に説明されていること」は同得点第 7 位となった。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、「非財務情報（統合報告書、ファクトブック、ESG 情報等）の開示に積極的に取り組んでいること」が同得点第 1 位となり、「工場見学、事業部説明会、技術説明会等を実施し、かつその内容が充実していること」も第 4 位となった。内容が充実していたものとして、ESG 説明会を挙げる声が多かった。

**第 3 位 プリヂストン（ディスクロージャーの改善が著しい企業、総合評価点 72.9 点〔昨年度比+4.8 点、一昨年度比+0.1 点〕、昨年度第 13 位〔一昨年度第 7 位〕）**

- ① 同社は、フェア・ディスクロージャー（76%）、コーポレート・ガバナンス関連（80%）が第 1 位、経営陣の IR 姿勢等が第 2 位（76%）、自主的情報開示が第 5 位（70%）、説明会等が第 14 位（63%）となった。昨年度と比べると、4 分野の得点率が伸びたことから、総合順位が大きく上昇した。
- ② **経営陣の IR 姿勢等**においては、「経営トップが企業価値向上への意識を高め、投資家にとって有意義なメッセージを発信していること。また、投資家の期待や懸念を理解し、それに応えていること」が最も高い評価となった。これに関連して、経営トップの IR 対応が増え、積極的に情報発信をしていることや、決算説明会において財務面だけでなく成長戦略もアップデートをしていることを評価する声が寄せられた。また、「経営トップが企業価値向上の手段としての ESG の重要性を認識し、その取り組み内容を投資家に的確に伝えていること」が第 3 位、「IR 部門の機能」も同得点第 3 位となった。これらの結果、この分野において第 2 位となった。なお、中期事業計画での重要項目として ESG を説明していることを評価する声があった。
- ③ **説明会等**においては、「説明会における会社側の説明（質疑応答も含む）が十分であること」（第 15 位）および「企業分析に必要かつ十分な情報が得られること」（第 16 位）が共に、平均得点率に達しなかった。なお、投資家向けとメディア向けに分けた説明会を望む声や、分析に有用な定量情報のさらなる充実を期待する声があった。
- ④ **フェア・ディスクロージャー（1 項目）**の、「経営陣および IR 部門が、投資家にとって重要と判断される事項についての開示（メディア対応も含む）に際し、遅滞なく十分に、かつ公平に行っていること。また、ウェブサイトを利用して説明会等の内容（質疑応答を含む）を日英両言語でタイムリーに提供していること」は、最も高い評価となった。これに関連して、英語資料が動画を含めて充実しているとの声があった。
- ⑤ **コーポレート・ガバナンス関連**においては、「コーポレート・ガバナンスに関する考え方や取組姿勢を十分に説明していること」および「中期経営計画や長期ビジョンを公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が、十分に説明されていること。また、資本政策、株主還元策等が十分に説明されていること」が共に、最も高い評価となり、この分野において第 1 位となった。これらに関連して、経営トップ自らが説明していること、役員報酬の決定プロセスや取締役会の構成などの説明が充実していることを評価する声や、中期事業計画の進捗状況が丁寧にフォローされているとの声があった。

- ⑥ **自主的情報開示**においては、「非財務情報（統合報告書、ファクトブック、ESG 情報等）の開示に積極的に取り組んでいること」が第 3 位となり、「工場見学、事業部説明会、技術説明会等を実施し、かつその内容が充実していること」は第 6 位となった。なお、内容が充実していたものとして、中長期事業戦略説明会、技術開発センター見学会が挙げられた。

同社は、このようにディスクロージャーの改善が著しいので、「**ディスクロージャーの改善が著しい企業**」に選定した。

以 上

# 2021年度 ディスクロージャリー評価比較総括表 (自動車・同部品・タイヤ)

(単位:点)

| 順位 | 評価項目<br><div>評価対象企業</div> | 総合評価<br>(100点) | 1. 経営陣のIR姿勢、<br>IR部門の機能、IR<br>の基本スタンス |    | 2. 説明会、インタビュー、<br>説明資料等における<br>開示 |    | 3. フェア・ディスク<br>ロージャー |    | 4. コーポレート・ガバナ<br>ンスに関連する情報<br>の開示 |    | 5. 各業種の状況に即した<br>自主的な情報開示 |    | 前回<br>順位 |
|----|---------------------------|----------------|---------------------------------------|----|-----------------------------------|----|----------------------|----|-----------------------------------|----|---------------------------|----|----------|
|    |                           |                | 評価点                                   | 順位 | 評価点                               | 順位 | 評価点                  | 順位 | 評価点                               | 順位 | 評価点                       | 順位 |          |
|    |                           |                | 評価項目3<br>(配点 30点)                     |    | 評価項目2<br>(配点 20点)                 |    | 評価項目1<br>(配点 10点)    |    | 評価項目2<br>(配点 20点)                 |    | 評価項目2<br>(配点 20点)         |    |          |
| 1  | 6902 デンソー                 | 73.5           | 22.3                                  | 3  | 15.0                              | 1  | 7.3                  | 4  | 14.0                              | 3  | 14.9                      | 1  | 3        |
| 2  | 7282 豊田合成                 | 73.3           | 23.6                                  | 1  | 14.1                              | 4  | 7.5                  | 2  | 13.5                              | 5  | 14.6                      | 3  | 1        |
| 3  | 5108 プリヂーストン              | 72.9           | 22.9                                  | 2  | 12.5                              | 14 | 7.6                  | 1  | 15.9                              | 1  | 14.0                      | 5  | 13       |
| 4  | 7203 トヨタ自動車               | 69.6           | 21.4                                  | 4  | 14.4                              | 2  | 6.9                  | 8  | 12.2                              | 15 | 14.7                      | 2  | 6        |
| 5  | 7201 日産自動車                | 67.7           | 21.1                                  | 5  | 11.9                              | 20 | 7.4                  | 3  | 13.1                              | 10 | 14.2                      | 4  | 4        |
| 5  | 7270 SUBARU               | 67.7           | 20.4                                  | 6  | 14.2                              | 3  | 7.1                  | 5  | 13.2                              | 7  | 12.8                      | 8  | 2        |
| 7  | 7202 いすゞ自動車               | 67.5           | 20.4                                  | 6  | 13.8                              | 5  | 6.4                  | 14 | 14.6                              | 2  | 12.3                      | 10 | 14       |
| 8  | 3116 トヨタ紡織                | 65.4           | 18.9                                  | 13 | 13.2                              | 10 | 7.0                  | 6  | 13.2                              | 7  | 13.1                      | 6  | 16       |
| 8  | 7259 アイシン                 | 65.4           | 19.8                                  | 10 | 13.5                              | 7  | 7.0                  | 6  | 13.0                              | 12 | 12.1                      | 12 | 9        |
| 10 | 7272 ヤマハ発動機               | 65.3           | 19.9                                  | 8  | 12.8                              | 13 | 6.6                  | 9  | 13.2                              | 7  | 12.8                      | 8  | 8        |
| 11 | 7261 マツダ                  | 64.5           | 19.2                                  | 11 | 13.3                              | 9  | 6.6                  | 9  | 13.1                              | 10 | 12.3                      | 10 | 5        |
| 12 | 7211 三菱自動車工業              | 64.0           | 18.9                                  | 13 | 13.6                              | 6  | 6.5                  | 12 | 12.9                              | 13 | 12.1                      | 12 | 11       |
| 13 | 7267 本田技研工業               | 63.9           | 19.9                                  | 8  | 12.4                              | 15 | 6.6                  | 9  | 12.1                              | 16 | 12.9                      | 7  | 7        |
| 14 | 5101 横浜ゴム                 | 62.5           | 18.2                                  | 17 | 13.0                              | 12 | 6.5                  | 12 | 13.8                              | 4  | 11.0                      | 16 | 17       |
| 15 | 5105 TOYO TIRE            | 62.0           | 18.4                                  | 16 | 13.5                              | 7  | 6.2                  | 17 | 13.4                              | 6  | 10.5                      | 19 |          |
| 16 | 6201 豊田自動織機               | 61.0           | 19.0                                  | 12 | 13.2                              | 10 | 6.3                  | 15 | 11.4                              | 19 | 11.1                      | 15 | 10       |
| 17 | 7269 スズキ                  | 59.6           | 18.5                                  | 15 | 12.4                              | 15 | 6.0                  | 18 | 12.1                              | 16 | 10.6                      | 17 | 12       |
| 18 | 5110 住友ゴム工業               | 59.3           | 17.3                                  | 18 | 12.4                              | 15 | 6.3                  | 15 | 12.7                              | 14 | 10.6                      | 17 | 15       |
| 19 | 7276 小糸製作所                | 57.9           | 17.3                                  | 18 | 12.1                              | 18 | 5.9                  | 19 | 11.2                              | 20 | 11.4                      | 14 | 20       |
| 20 | 7205 日野自動車                | 55.6           | 16.2                                  | 20 | 12.0                              | 19 | 5.7                  | 20 | 11.5                              | 18 | 10.2                      | 20 | 18       |
|    | 評価対象企業評価平均点               | 64.96          | 19.69                                 |    | 13.17                             |    | 6.67                 |    | 13.01                             |    | 12.42                     |    |          |

## 2021年度評価項目および配点(自動車・同部品・タイヤ)

【評価期間：2020年7月～2021年6月】

| 1. 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス (30点)                                                                                                                                     | 配点 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| (1)経営陣のIR姿勢                                                                                                                                                             |    |
| ①経営トップが企業価値向上への意識を高め、投資家にとって有意義なメッセージを発信していますか。また、投資家の期待や懸念を理解し、それに応えていますか。<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                                    | 10 |
| ②経営トップが企業価値向上の手段としてのESGの重要性を認識し、その取組内容を投資家に的確に伝えていますか。 【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                                                            | 10 |
| (2)IR部門の機能                                                                                                                                                              |    |
| ・ IR部門への経営資源の配分は充実していますか。（十分な人員配置、IR部門への権限委譲、情報集積の支援、アナリストが要望する情報の提供、担当交代時の十分な引き継ぎなど）<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                          | 10 |
| 2. 説明会、インタビュー、説明資料等における開示 (20点)                                                                                                                                         | 配点 |
| (1)説明会における開示                                                                                                                                                            |    |
| ・ 説明会における会社側の説明（質疑応答を含む）は十分ですか。<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                                                                                | 10 |
| (2)説明資料等における開示                                                                                                                                                          |    |
| ・ 企業分析に必要かつ十分な情報が得られますか。<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                                                                                       | 10 |
| 3. フェア・ディスクロージャー (10点)                                                                                                                                                  | 配点 |
| ・ 経営陣およびIR部門が、投資家にとって重要と判断される事項についての開示（メディア対応を含む）に際し、遅滞なく十分に、かつ公平に行っていますか。また、ウェブサイトを利用して説明会等の内容（質疑応答を含む）を日英両言語でタイムリーに提供していますか。<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】 | 10 |
| 4. コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示 (20点)                                                                                                                                         | 配点 |
| (1)コーポレートガバナンス                                                                                                                                                          |    |
| ・ コーポレートガバナンスに関する考え方や取組姿勢を十分に説明していますか。<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                                                                         | 10 |
| (2)目標とする経営指標等、資本政策、株主還元策等の開示                                                                                                                                            |    |
| ・ 中期経営計画や長期ビジョンを公表し、その後の進捗状況・達成のための具体的方策が、十分に説明されていますか。また、資本政策、株主還元策等が十分に説明されていますか。<br>【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                            | 10 |
| 5. 各業種の状況に即した自主的な情報開示 (20点)                                                                                                                                             | 配点 |
| ①工場見学、事業部説明会、技術説明会等を実施し、かつその内容は充実していますか。<br>【過去1年間を目安に評価】 【充実していた工場見学会や説明会等名をコメント欄に記入して下さい】                                                                             | 10 |
| ②非財務情報（統合報告書、ファクトブック、ESG情報等）の開示に積極的に取り組んでいますか。                                                                                                                          | 10 |



自動車・同部品・タイヤ専門部会委員

|       |       |                     |
|-------|-------|---------------------|
| 部 会 長 | 箱守 英治 | 大和証券                |
| 部会長代理 | 高橋 耕平 | UBS 証券              |
|       | 岩井 徹  | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 |
|       | 北川 知明 | 三井住友 DS アセットマネジメント  |
|       | 楯本 将隆 | 野村証券                |
|       | 坂口 大陸 | みずほ証券               |
|       | 吉田 有史 | シティグループ証券           |

評価実施アナリスト（31名）

|       |                     |       |                     |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 秋田 昌洋 | クレディ・スイス証券          | 坂牧 史郎 | 大和証券                |
| 浅川 裕之 | パインブリッジ・インベストメンツ    | 杉浦 誠司 | 東海東京調査センター          |
| 新井 光樹 | 三井住友トラスト・アセットマネジメント | 杉本 浩一 | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 |
| 安藤 広樹 | 三井住友トラスト・アセットマネジメント | 高田 悟  | ティー・アイ・タウリュ         |
| 石山 孝高 | みずほ証券               | 高橋 耕平 | UBS 証券              |
| 伊藤 辰彦 | みずほ証券               | 田中 健司 | アセットマネジメント One      |
| 岩井 徹  | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 | 田中 彰  | 三菱 UFJ 信託銀行         |
| 江口 由紀 | 野村アセットマネジメント        | 夏目 宏之 | 東京海上アセットマネジメント      |
| 大畑 友紀 | みずほ証券               | 成瀬 伸弥 | 岡三証券                |
| 垣内 真司 | モルガン・スタンレー MUFU 証券  | 西津 昂  | 野村証券                |
| 北川 知明 | 三井住友 DS アセットマネジメント  | 箱守 英治 | 大和証券                |
| 木下 壽英 | SMBC 日興証券           | 花井 美穂 | SOMPO アセットマネジメント    |
| 楯本 将隆 | 野村証券                | 広川 孝一 | JP モルガン・アセット・マネジメント |
| 久保田 悟 | 三井住友トラスト・アセットマネジメント | 八木 啓行 | 富国生命投資顧問            |
| 小西 慶祐 | QUICK               | 吉田 有史 | シティグループ証券           |
| 坂口 大陸 | みずほ証券               |       |                     |

（注）上記各アナリストの評価実施企業は、各人それぞれ異なることに留意。